

マイナポイントのご案内



マイナンバーカードを取得し、民間キャッシュレス決済サービスを選択して、マイナポイントを申し込むと、一定額を前払い等した方に国が「マイナポイント」を付与します。

マイナポイントとは

マイナポイントは、選択したキャッシュレス決済の利用時や電子マネーの入金時に付与されるポイントです。還元率は25%で、最大5000円分のポイントが付与されます。付与されたポイントは、選択したキャッシュレス決済や電子マネーが使えるお店でお買い物ができます。

マイナポイント申し込み

国の運営するマイキープラットフォームホームページまたはスマートフォンアプリからおこなうことができます。

申込みには、マイナンバーカードと、公的個人認証対応スマートフォンまたはICカードリーダーを接続したパソコンが必要です。なお、マ

イナポイントは、選択した電子マネー等を申し込み後にチャージまたは利用した金額に対して付与されます。

マイナポイント申込み支援

大口町では、公的個人認証対応スマートフォンをお持ちでない方等を対象に、マイナポイント予約支援を実施します。詳しくは、大口町ホームページをご覧ください。

場所 役場1階 戸籍保険課前

期間および時間

12月28日(月)までの平日

午前9時から午後5時まで

※第2・3・4水曜日は午後7時まで

※毎月第2日曜日は午前9時から正午まで

問合せ先 行政課 ☎95-1699



大口町
ホームページ



町史編さん室だより

車両の変遷

大口では昭和20年代までは自動車の普及は少なかったようです。農業用の大八車がのちにリヤカーに変わり、移動手段はもっぱら自転車でした。また、昭和40年代半ばまでは荷馬車も見られました。

昭和30年代後半から40年代にかけて、自動車、オートバイが普及していったようです。

特に、農村である大口にあって、軽トラックの需要は高かったと思われる、昭和40年代前半までは、貨物自動車の台数が乗用車を上回っています。その後、貨物自動車の数も増加していきましたが、平成に入ると減少傾向に転じているのは、農家の兼業化、そして離農という農業を取り巻く状況の変化と無関係ではないといえます。

貨物自動車に比べると、普通乗用車の台数の増加は急激であり、一族全員が自分の乗用車を持つようになったことによると考えられます。これは、農家・元農家にあつて庭が広く駐車場の確保に困らないといっ

たことも一因と思われる。また、町内の道路網の整備、国道や高速道路を使って車で遠出しやすくなった道路環境も、車の利便性を高めている要因と考えられます。

問合せ先

町史編さん室 ☎95-3464

	乗用車	貨物車
昭和50年	3,093	1,033
60年	4,949	1,443
平成元年	7,948	1,599
10年	11,701	1,830
20年	14,058	1,459
30年	15,627	1,530

▲車両数の変化(『愛知県統計年鑑』参照)

	乗用車	貨物車	自転車	リヤカー
昭和25年	4	14	2,642	1,269
30年	61	124	4,008	2,054
35年	216	493	4,390	
40年	283	645	4,570	
45年	1,639	816	6,000	

▲車両数の変化(『大口町史』参照)